

# 生き方 小学校



小学校

道徳

総合

みんな生きています

🕒 15分

## ボクとともにだちになって (2008年放送)

### この番組の良さ



#### 外国人の友達がクラスにやってきましたら

2年前にブラジルから日本に来た男の子・カズヨシ君。最初はブラジル人学校に通っていましたが、日本人の友達がほしいと地元の小学校に通うことにしました。しかし、日本語はまだあまり話すことができません。彼ははたしてクラスになじむことができるのでしょうか。本番組では、期待と不安を抱きながら小学校に通い始めたカズヨシ君と同級生たちとの交流が描かれています。

#### 国際化の中で子どもたちは

社会が急速に変化し、国際化が一層進む中で、異文化との共生がより強く求められています。

本番組を視聴し、同世代の外国人の友達と同級生たちとの交流について考え、話し合う活動により、子どもたちは、異文化の理解や異文化との共生の手がかりをつかんでいくことができるでしょう。

### 番組活用のポイント

#### カズヨシ君とクラスの友達、両方の立場で考える

番組は、大きく3つの構成で描かれています。まず、ブラジルからやってきたカズヨシ君が、日本の学校に通い始め、不安を抱く場面、次に、クラスの友達が、カズヨシ君のためにできることを話し合い、行動する場面、そして、クラスの友達と交流し、しだいにカズヨシ君の顔に笑顔が見られるようになる場面です。

本番組を活用する際に重要なのは、カズヨシ君の立場とクラスの友達の立場の両面から考えていくことです。まず、不安を感じながらも友達をつくりたいと願うカズヨシ君の気持ちに迫ることから始めます。このことによって、その後の学習活動がより深まっていきます。次に、カズヨシ君の気持ちを踏まえ、クラスの友達の立場で考えていきます。カズヨシ君のためにどのようなことができるのか、自分たちのクラスに外国人の友達がやってきましたら、どのようにしたらよいかなど、考えを広げていくことができるでしょう。

#### 思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする心情を養う

道徳教育を進めるにあたり、小学校高学年では、特に、相手の立場に立つことを強調する必要があります。本番組で、外国人の友達について考える機会を得ることになりますが、それに加え、多様な人と触れ合い助け合って何かをするような機会を設け、思いやりの心をもつことの大切さを深く考えられるように工夫する必要があります。

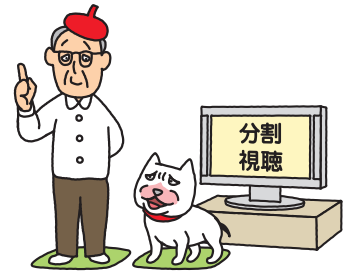
#### 外国語活動や総合的な学習の時間、特別活動への広がり



本番組は、道徳の時間に視聴して終わるのではなく、実践的な活動や体験的な活動の場として、外国語活動や総合、特別活動へ広げていくことも考えられます。それぞれの時間の特性に応じた適切な指導を行うことで、さらに番組活用の効果が期待できます。

学習展開例

授業時間 45分

# 相手の立場に立って考える わかりあう心



時間配分	学習活動	教師の支援
5分	<p>①知らない人たちの中に入っていきときの心情について話し合う。</p>	<p>○転校をした経験や新しい習い事に行くときなどの経験について自由に語り合うことで、本時のテーマへの方向付けをする。</p> <p>○クラスに外国人がいる場合は、その子が語る場を設ける。</p>
20分	<p>②番組を視聴しながら考える。</p> <p>○クラスの輪になかなか入って行けないカズヨシ君の気持ちを考えながら視聴する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>視聴 ・クラスの輪になかなか入って行けないカズヨシ君。 (開始～6分20秒)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>・家族と語らうカズヨシ君。 ・日本語の練習をがんばるカズヨシ君。 (6分20秒～9分30秒)</p> </div> </div> <p>○カズヨシ君のクラスの友達の立場で考えながら視聴する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>・どうしたらカズヨシ君がクラスになじめるか話し合うクラスの友達。 (9分30秒～12分14秒)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>・クラスの友達と遊び、笑顔になるカズヨシ君。 (12分14秒～終わり)</p> </div> </div>	<p>○カズヨシ君やクラスの友達の表情などに集中できるようにするため、メモはとらせないようにする。</p> <p>○番組冒頭の、「言葉の通じない外国で学校に通うことになったら、どんな気持ちになるのかな?」というナレーションを受け、「自分だったらどう?」と投げかける。</p> <p>○カズヨシ君がクラスの友達の輪になかなか入って行けない場面(6分20秒)で一時停止し、カズヨシ君の気持ちを考えさせる。</p> <p>○この場面では、カズヨシ君の気持ちに共感できるようにするために、途中で一時停止せずに次のシーンまで続けて視聴するようにする。</p> <p>○クラスでの話し合いや完成した自己紹介カード、クラスの友達のコメントなど、カズヨシ君を迎える準備のできた学級の雰囲気を感じ取ることができるようにするために、自己紹介カードが完成した場面(12分14秒)で一時停止し、クラスの友達の立場で考える時間を保証する。</p> <p>○カズヨシ君の心情の変化を感じ取ることができるようにするために、カズヨシ君の表情の変化に注目するように声をかける。</p>
15分	<p>③番組を見た感想をもとに、外国人の友達と共に生きていくことや、思いやりをもって接していくことについて話し合う。</p> <p>④外国人に限らず、クラスの友達など周りの人に目を向け、様々な人とどのように関わっていったらよいか考える。</p>	<p>○カズヨシ君の気持ちと、クラスの友達の気持ちとを整理しながら板書し、双方の心情をより深く考えていくことができるようにする。</p> <p>○「相手の立場に立つとはどのようなことだろう」と問い、人間関係の深さの違いや意見の相違などを乗り越え、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしていこうとする心情を高める。</p>
5分	<p>⑤今日の学習をふり返りを書く。</p>	<p>○今日の学習で学んだことをノートに書き、感想を発表しあうことで、多様な考えに触れることができるようにする。</p>